

都市計画法および都市計画に関するセミナー

2025年6月2日

ナショナル大学 クロドミロ・ピカド講堂

JICA コスタリカ

所長 吉田 憲

大学関係者の皆さま
関係機関の代表の皆さま
ご登壇の皆さま
ご参加の皆さま

おはようございます。

国際協力機構（JICA）コスタリカの所長として、この重要な「都市計画法および都市計画に関するセミナー」の開会式に参加できることを大変光栄に思います。

このような貴重な対話の場を企画・ご招待くださった、中南米都市・地域計画家協会（ALPU）およびナショナル大学地理科学部の皆さまに、心より感謝申し上げます。

JICAは、持続可能な都市開発は単なる技術的な目標ではなく、より公平で安全、包摂的かつ強靱な都市を実現するための倫理的な挑戦であると強く信じております。

都市は、私たちの社会の未来が形作られる舞台です。そのためには、明確な法制度、厳密な計画、そして公的・民間を問わず様々な関係者による積極的な参加が不可欠です。

このような観点から、JICAは昨年、ALPUに対して「第1回 JICA 国際協力賞」を授与いたしました。この賞は、優先分野において顕著な成果を挙げた個人や団体に贈られるものです。

今回のセミナーが掲げるテーマは、まさに現代において極めて重要です。

都市開発における課題を法制度および領域計画の視点から捉えることは、社会空間の分断、交通渋滞、公共サービスやインフラへの公平なアクセスの欠如といった問題に、どのように具体的な解決策が作られるか、あるいは妨げられているかを理解するための鍵となります。

日本もまた、都市計画において多くの経験と教訓を積み重ねてきました。JICAはその知見をパートナー国の皆さまと共有できることを誇りに思っております。

統合的な都市計画、リスク管理、持続可能なモビリティ、法制度整備といった分野での日本の経験は、各国・地域の現実に即した実りある対話の出発点となることでしょう。

本セミナーが、午前中に技術研修、午後には一般公開の講演という構成になっていることを歓迎いたします。学术界、行政機関、民間部門、市民社会の連携を実現する模範的なモデルであり、21世紀の都市ガバナンスに不可欠な姿勢です。

JICAは引き続き、コスタリカとの協力関係において、制度の強化、知識の共有、そして公共政策の推進を通じて、すべての人々の幸福と持続可能な地域発展に貢献してまいります。

この三日間の議論と学びの場が、未来の都市に向けた新たな連携、アイデア、解決策の種となることを心より願っております。

ご清聴ありがとうございました。